

平成14年12月1日号(No.1)

# あ じ ふ る さ と 阿 字 の 故 郷

天応山神保寺千手院情報誌

## 発刊にあたり

この度、護持会お世話人の方々から「半年ぐらい先までの、予定をお知らせ頂きたい。」とのご要望に添えて、この季刊誌を発行することになりました。

発行は年二回で、年末年始号が十二月一日に、孟蘭盆会号が七月一日に、それぞれ檀信徒や関係者のもとへ届けられます。その他関係者以外の方にも、お申し込み頂ければ配布します。

また、掲載の内容については、年間予定や仏教情報、護持会のお知らせや報告事項などを考えております。

尚、当面は無料で配布できる予定ですが、印刷や送料等のスポンサーになって頂ける方は、ご連絡をお待ちしております。

## 題字の説明

「阿字」というのは、生命の根元を意味します。誰もが平等に備えている命そのものを、文字で表現したと思ってください。

「阿」は「A」や「あ」の様に、母音の最初の音で、命の誕生の瞬間に発せられる産声と

して、国や民俗の枠を超えて認識されています。当「命そのもの」の声なのです。

つまり、「阿字の故郷」とは、私たちにとって共通の故郷なのです。千手院が多くの人々にとって、こころの故郷になっていくように、育ててまいりましょう。

## 平成十四年師走予定

○十二月二十一日(土) 午後一時

【南瓜の善哉】於高野山東京別院本堂

冬至近くのお大師さまの日に、南瓜のぜんざいをいただき、末永い健康を願う行事です。自由参加で無料です。

○十二月二十三日(月) 午前九時集合

【大掃除・仏具磨き】於千手院全館

年末の大掃除をいたします。本堂掃除・仏具磨き・墓地清掃等お手伝い頂ける方はご連絡下さい。

○十二月三十一日(火) 午後十一時頃

【年越しの読経】於千手院本堂

大晦日から元旦にかけて、住職が新年祈禱の読経を執行いたします。

## 平成十五年上半期予定

○元旦（水）～三日（金）

【初詣】於千手院本堂・境内墓地

ご参詣の方々には、本堂に休憩所を設けて、お接待が受けられます。参詣記念品等ございますので、お誘い合わせの上お越し下さい。

○一月四日（土）～五日（日）

【新年答礼】千手院住職

初詣に答えて近隣の檀信徒各家へ、住職が訪問し、新年祈祷の御札をお届け致します。※本年より日めぐりカレンダー等は、前もって郵送させて頂きます。

○一月十二日（日）午前十一時

【稻荷講】於千手院稻荷堂

境内のお稻荷さまに、年頭のご挨拶を致します。五穀豊穡と子孫繁栄を願って、大勢の方の参拝をお待ちしております。

○二月三日（月）

【節分大護摩祈祷会】於圓藏寺本堂

檀信徒各家の家内安全、身体堅固等を、

茅ヶ崎の寺院住職が集まって、ご祈祷を致します。お申し込みは千手院まで。

○三月二十一日（金）

【春季彼岸会】於千手院本堂

お彼岸のお中日の、午前と午後読経を致します。墓参の際に本堂にあがってご焼香をして、参詣の記念品をお持ち帰り下さい。

○五月二十日（火）～二十五日（日）

【弘法大師ご入唐一、二〇〇年記念の旅】

上海・西安・福州・霞浦（赤岸鎮）を巡る五泊六日の旅行です。ご本山の行事で、旅行代金は一人二三三、〇〇〇円になります。ご希望の方には、参加申込書をお送り致します。千手院住職が添乗するかどうかは未定です。

○六月十三日（金）～十五日（日）

【青葉祭り】於高野山東京別院本堂

お大師さまの誕生会に合わせて、四国八十八ヶ所のお砂踏みや、華道展などが開催されます。入場無料ですのでお気軽にお参り下さい。

○六月末に発送予定

【盂蘭盆会案内発送予定】千手院寺務所

お盆のご案内を郵送いたします。卒塔婆の申し込み確認の用紙が同封されていますので、変更や追加のある方のみご連絡下さい。ご連絡の無い場合は、昨年同様にお書きしておきます。

## 御詠歌教室ご案内

毎月二回第一第三木曜の午後一時より、講師は井上壽戒先生。見学は自由です。

## 今後計画予定の行事

- ① 四国・相模・関東等の札所巡拝
- ② 高野山への団体参拝
- ③ 阿字観の実修（密教瞑想法）
- ④ 写経会・写仏会・読経会等
- ⑤ 整体治療院の開設（平田修一先生）
- ⑥ 児童・青少年の体験修行
- ⑦ 法話会・茶話会等

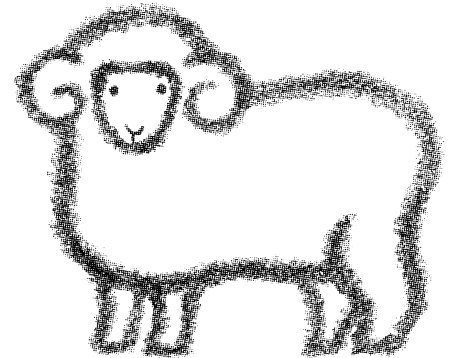
※その他、ご希望の事柄が有りましたら、お知らせ下さい。検討させて頂きます。

護持会世話人名簿

- 一組 ○脇 義春 小和田
- 水島 寅夫 代官町
- 新田 眞由美 浜須賀
- 二組 白井 好之(副会長) 小和田
- 新倉 喜代一 小和田
- 新倉 春生 小桜町
- 三組 ○原田 季昭(副会長) 小桜町
- 原田 幸徳 小桜町
- 原田 藤久(監査) 出口町
- 四組 ○楠本 実(監査) 松林
- 新倉 秀春 小桜町
- 五組 ○白井寿雄「精治」(総務) 代官町
- 六組 ○小池 忠 浜竹
- 白井 健太郎 浜竹
- 七組 ○水嶋 富士雄 美住町
- 水嶋 喜代一 出口町
- 八組 ○原田 島雄(書記) 辻堂
- 九組 ○石橋 久照(会計) 城南
- 鈴木 得郎 城南
- 十組 ○斉藤 奎吾(会長) 元町

※○印の方が、それぞれの組長で(\* )内は世話人会での役職名です。

護持会功労者



原田 幸徳 殿

護持会副会長を退任されましたが、長年の功績により、名誉会員として登録し、官長様より褒賞されました。

尚、退任後もお世話人として、ご活躍頂いております。

※現在までに、護持会役員等でご活躍頂いた方々には、随時名誉会員として登録させて頂き、その功績に対し、褒賞させて頂くと共に、寺跡に刻ませていただく予定であります。

物故者名簿

平成十四年一月〜十月

- 新倉 マキ 殿(一月二十三日寂)
- 柴田 セイ 殿(二月五日寂)
- 黒澤 豊重 殿(二月十五日寂)
- 神谷 保正 殿(二月二十八日寂)
- 大久保 昌幸 殿(三月十二日寂)
- 石河 洋 殿(四月九日寂)
- 杉崎 伍朗 殿(四月十四日寂)
- 山下 キヨ 殿(五月十八日寂)
- 新倉 茂 殿(六月十六日寂)
- 水島 幸吉 殿(九月二十八日寂)

千手院の縁起①

千手院は、高野山真言宗のお寺で、ご本山は、和歌山県伊都郡高野町高野山に有る総本山金剛峯寺です。

宗祖は弘法大師(空海)様で、ご宝号は「南無大師遍照金剛」とお唱えします。

千手院の歴史は、江戸時代の初期(約四〇〇年前)からで、開山は元栄和尚(一六二二年六月十一日寂)によります。

建立は延宝八年(一六八〇)で、現在の本堂は、関東大震災の後に再建されました。

尚、部材は既存の物がほとんどですので、七十年以上たっているようです。

札所としては、準四国八十八ヶ所の二十四番としての看板が残っていて、「遠近の人の小和田につどへるとほとけの御手に招かれてこそ」と詠われています。 つづく

### 法事のお申し込み方法

一、日時は、寺務所へ確認してから決めてください。複数のご法事が重なる場合があります。お互い譲り合いまししょう。

一、出席者の人数・卒塔婆の有無・食事の有無等をご相談下さい。また、卒塔婆は、乾かすのに三〜四日かかります。前もって名簿をお届け下さい。

一、本堂でのご法事は、全て椅子席になっております。安心してお出かけ下さい。

一、お位牌だけは、なるべくご持参下さい。写真は施主の判断で結構です。

※不明な点は、遠慮無くご相談下さい。

### 進行中の改装工事等

一、本堂と閻魔堂の屋根の塗り替えは、今年中に完了の予定です。

一、庫裡と稻荷堂の屋根の塗り替えは、来年春頃完了の予定です。

一、参道の入り口が分かりにくいため、現在の石看板の移動と、新規石看板の設置を予定しています。

一、お稻荷様の鳥居が、ひび割れてきていますので、新しい物と交換を考えています。

一、境内に敷き詰めた砂利を、墓所全体にまで広げて敷きたいと思っています。

※伽藍維持の作業は、この新聞に掲載し報告してまいります。檀信徒の方々の不安

につながらないよう、護持に努めて参りますが、何かお気づきの点がありましたら、遠慮無くお知らせ下さい。これから  
の参考に致します。

合 掌

高野山真言宗 天応山神保寺

## 千 手 院

〒253-0015 神奈川県茅ヶ崎市代官町1番4号

電 話 0467(51)9758

FAX 0467(51)0561

ホーム <http://www.shusen.com/senjuin/index.html>

メール [senjuin@shusen.com](mailto:senjuin@shusen.com)